

車と高断熱住宅の話②ー夏編

今年も夏が来ました。

前回、車は高気密の最たるものという話しを書きました。
夏、車はクーラーをかけるとすぐ涼しくなります。
これは**高気密**だから(しかも空間が小さいから)ですよ。

しかし、冷房を止めるとすぐ暑くなります。
なぜでしょう？
断熱性能が全くない**低断熱**からですよ。
炎天下、ガラスは一枚、屋根はほぼ鋼板だけ。
これでは熱くなるのは当然です。

つまり、**車は高気密・低断熱**の最たるものと言えます。

車は炎天下に窓を閉め切ったまま放置したり、
日射が窓からはいると、猛烈に暑くなりますが、
フロント硝子に**日除け**をしておけば、幾分マシです。
また、大きな木の下など**日陰**におけば、さほど暑くなりません。
窓を開けておけば**風を通して**涼しさも感じます。

車の暑さ対策は、日除けと日陰&通風といえませんか。

高断熱高気密住宅の高気密は車と同じです。
決定的に違うのは断熱です。

しかし家を日陰に置くことはできません。
室内を、‘日陰’にするのが高断熱です。(例えば屋根に200mmの断熱材)
炎天下にさらされても、断熱材が遮熱してくれるところが車と違うところです。

つまり、高断熱高気密住宅の夏対策は

1. 直射日光を入れない。入れれば必ず暑くなる。
2. 風を通せば室内も冷えるし、涼も感じる。

つまり、**低断熱高気密の車に高断熱を搭載したのが高気密高気密の住宅**といえませんか？
暑さ対策のヒントは車にあります。

08. 7. 9 会沢

このあたりの手法を鎌田先生が「Q1プロジェクト」(500円)に書いています。